



School Guide 2020



茨城県立水海道第一高等学校

明治～大正～昭和～平成～令和 120年の伝統



■指す学校像

- ・将来を担う人材を育成する学校
- ・地域に貢献する学校



令和元年度生徒会執行部

沿革

明治33年	茨城県下妻中学校水海道分校として開校
明治35年	茨城県立水海道中学校となる
昭和24年	茨城県立水海道第一高等学校となる
平成16年	進学重視型単位制普通科に改編
平成17年	普通教室に空調設備設置、スクールバス運行開始
平成24年	新本館完成

学校概要

全日制普通科1学年7学級、計21学級の編成。
平成16年度より進学重視型の普通科単位制高校に改編された。社会の要請に応えるべく、地域に根ざした、各界のリーダーとなる人材の育成に努め、積極的な教育活動を展開している。少人数授業・講座制・亀陵タイム(総合的な学習の時間／総合的な探究の時間)やキャリア教育・課外指導・面談活動等を通して、一人ひとりを大切にした、きめ細かな指導を行っている。



至誠 健剛 快活

校訓



校章

海棠（かいどう）の葉三枚で水海道とし、旧制中学の伝統を受け継いで勾玉六個を小さく組み合せ、全体が「水」の字を形どる。

振へ振へもろともに
負けじ心を振り起せ
いざやいざやわが友
負けじ心を振り起せ

むかし天下を睥睨の
東国男子の魂は
なほ三寸の胸にあり
空のあなたに舟の帆白し
ここぞわれらが祖先の地

筑波の山は雲を衝き
鬼怒の流れは四十五里
作詞 東京音楽学校助教授 吉丸一昌
作曲 南能衛

校歌

茨城県立水海道第一高等学校 入学式



4つの目標

1. キャリア教育の充実
将来の自分の生き方を見出しができるよう手助けをします。
2. 授業の充実
授業の充実を目指し、指導方法の工夫・改善を図り、学力向上、そして進路希望の実現につなげます。
3. 豊かな人間性を育む
道徳教育や学校行事の充実を図り、人としての在り方・生き方を考えるきっかけを作ります。
4. 地域貢献
地域から信頼される学校を目指し、地域との連携を強めます。



進学重視型の単位制高校 55 分授業

授業の充実と学習習慣の確立

- 校内および他校での授業参観等を実施し、「わかる授業」を追求します。
- 入試改革や新しい教育の流れについて研究し、日々の授業に活かします。
- 各階に「アッセンブリー」と呼ぶ小教室があり、英語や数学および学校設定科目で少人数による授業を行っています。
- 普段の授業の理解を補い、さらに進学対策として課外授業を実施しています。
…平常課外（早朝・放課後）・土曜課外・長期休業中の課外等



日課	校時	時間
予鈴	8:30	
1	8:35 ~	9:30
2	9:40 ~	10:35
3	10:45 ~	11:40
4	11:50 ~	12:45
寝休み	12:45 ~	13:25
予鈴	13:25	
5	13:30 ~	14:25
6	14:35 ~	15:30
7	15:40 ~	16:30
SHR・清掃		
月・水・金曜は、		6限授業

【学校設定科目例】

(英語) 英語探究、時事英語研究、実用英語、英米文学研究
(数学) 数学探究、基礎解析特講A・B
(国語) 国語探究、古典文学研究、評論研究
(理科) 自然探究A、探究物理、探究化学、探究生物、探究地学
(地歴・公民) テーマ世界史／日本史、世界史／日本史探究、現代社会研究、人間探求
(芸術) 音楽実技研究、ソルフェージュ、造形基礎



海高プロジェクト～実践的な英語力の向上と異文化学習の推進～

ブリティッシュヒルズ宿泊研修（1年次生全員参加）

「パスポートのいらない英国留学」として知られる、福島県羽鳥湖高原にある語学研修施設British Hillsで英語の体験学習を行い、英語の運用能力のレベルアップを目指します。



海外語学研修（フィリピン・セブ島）（1・2年次生希望者参加）

2017年度より実施

語学学校でマンツーマン、または少人数グループレッスンの形で、朝から晩までフィリピン人講師および英米ネイティブの講師による英語の授業を受講します。2週間英語漬けの生活です。休日は外出して、自然体験／異文化体験学習を行います。昨年度はサンホセ大学で水海道一高の紹介と水海道の煎餅作りのプレゼンテーションを行いました。



令和2年度入学生の主な履修例モデル <予定>

学年	1年次		文系		理系	
	2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次
1	国語総合 (現代文③、古典③)	コミュニケーション 英語Ⅱ	コミュニケーション 英語Ⅲ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅱ
2	英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	数学B	数学B	基礎解析 特講A
3	現代文B	現代文B	時事英語 研究	数学探究	物理基礎 物理	生物
4	古典B	古典B	実用英語 研究	物理	生物	生物
5			現代文B	化学	化学	化学
6			古典B	コミュニケーション 英語Ⅱ	コミュニケーション 英語Ⅲ	英語表現Ⅱ
7			日本史B/ 世界史B	倫理	日本史B/ 世界史B	現代文B
8			日本史B/ 世界史B	数学Ⅱ	数学Ⅱ	古典B
9			古典B	数学B	数学B	地理A
10				政治経済	政治経済	古典B
11				体育	体育	地理B
12				探究生物	探究生物	地理B
13				世界史探究	世界史探究	倫理
14				評論研究	評論研究	体育
15				音楽Ⅱ	音楽Ⅱ	HR
16				HR	HR	HR
17				総合	総合	総合
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						

※科目選択により数種のパターンがあります。

在校生からのメッセージ



廣田真莉香

3年次生
水海道中学校出身
(理科部 写真班)



堀江 一真

2年次生
守谷中学校出身
(テニス部)



中山 美南

2年次生
水海道西中学校出身
(応援リーダー部)



鈴木 朝登

1年次生
岩井中学校出身
(硬式野球部)

私は水海道一高で2年間過ごして、濃密な学校生活を送ったと実感しています。授業では、少人数授業が行われているのでより質の高い、きめ細やかな授業を受けることができます。課外では普段の授業を補い、プラスアルファの学習ができるのも利点です。また、私は滅多に経験できない海外語学研修に参加し、英語能力を上げるとともに日本との違いにも目向けることができました。

私はこの2年間、多くのボランティアに参加してきました。その中でも地域行事である蓄祭のボランティアは、高校生が企画・運営を行なうイベントで、なかなか関わる機会のない他校生と協力して活動ができたため、とてもいい経験になりました。部活動は理化部写真班、理化部天文班、料理研究部に所属しています。写真部では全国総文祭への作品が展出されることが決まり、大変嬉しい思っています。また、文化部に所属しているため、文化祭が充実しているため、文化祭が充実している活動ができます。

幅広い活動が行え、学びやすい環境が整ったこの水海道一高で楽しい高校生活を送りませんか。

「負けじ心を振り起せ」この言葉は水海道一高の校歌にある歌詞です。水海道一高ではこの言葉通り折れない心を持ち文武ともに力を入れています。特に部活動では、生徒のほとんどが所属するほど盛んであります。各部活動が日々熱心に練習に励んでいます。勉強もそうですが、相手に負けたくない、勝ちたいと思う気持ちは向上心につながり、そこで仲間とともに高めあい、必ず取り組むことで本当に学べることがあると思います。それをサポートしてくれる大きな存在として水海道一高の先生がいます。部活動では本当に熱心に生活面、技術面の指導をしてくれ、学習面ではいつも生徒の質問にしっかりと丁寧に答えてくださいます。また、生徒一人一人をきちんと見てくれ、生徒の努力に気づき、優しい言葉をかけてくださいます。高校生活で「文武両道」が大切だとよく言われますが、水海道一高にはそれを達成するための基盤があります。あとは、「負けじ心」を持ち自分を高められるかです。ぜひ、私達とともに高め合う充実した学校生活を一緒に送りましょう。

水海道一高に入学して1年、とても充実した日々を過ごしています。高校の授業は内容量も多く、進度が速いので最初はついていくのがとても大変でした。しかし、少人数での授業や、レベルに合わせて授業を受けられるので先生にも質問をしやすく、すぐに教わることができます。課外授業や希望制で行われるスタディーマラソンなどがあるのでとても勉強しやすい環境が整っています。進路指導や二者面談も定期的に行われていて先生に相談しやすく、1年次のうちから卒業後の進路について考えることができます。また、水海道一高は部活動も大盛んです。私は応援団部に所属していますが、最初は人前で応援することが恥ずかしくて苦手でした。しかし今では、楽しく、礼儀や人としても大きくなれることができます。この他にも、クラスマッチや文化祭、下妻一高との定期戦など、多くの盛り上がる行事があり、楽しめています。

水海道一高での3年間はたくさんの仲間に出会うことができ、一生の財産になると思います。皆さんのご入学を心からお待ちしております。

進路実績

輝け！ 未来の自分を目指して

国公立大：筑波大7名、茨城大12名、茨城県立医療大4名他 43名が合格
私立大：早稲田2名、東京理科大7名他、のべ586名が合格

注：（ ）内は過年度卒を内数で示しています。

国公立大学			
大学名	平成31年度	平成30年度	平成29年度
北見工業大	1	1	1
弘前大		1	
東北大		1 (1)	
秋田大		1 (1)	
山形大		2	
福島大	1	1	
茨城大	12 (1)	16 (1)	15
筑波大	7 (1)	7	3
宇都宮大	1	2 (1)	
埼玉大	3	4	5 (1)
千葉大		2	
東京芸術大		2 (2)	
東京学芸大	1		
横浜国立大		1	
長岡科学技術大		1	
金沢大		1 (1)	
富山大	1	1 (1)	1
信州大	3 (1)	1	
静岡大		1	
山口大		2 (1)	
高知大	1	1 (1)	
鳥取大	1		
秋田県立大	1		
会津大		1	
茨城県立医療大	4	3	1
高崎経大	1	1	3
群馬県立女子大		1	
埼玉県立大	1	1	
神奈川県立保健福祉大		1	
横浜市立大		1	
前橋工科大	1		
島根県立大	1		
長崎県立大	1	1	
山梨県立大		1	
都留文科大	1	1	
長野県看護大		1	
山口県立大		1	
国公立大計	43 (3)	48 (4)	50 (7)

★大学&企業見学会（2018年度1年次）

- ① 筑波大&建築研究所
- ② 筑波大&国土地理院
- ③ 茨城大&水戸ホーリー・ホック
- ④ 千葉大&清水建設
- ⑤ 早稲田大&テレビ朝日・博報堂
- ⑥ 明治大&毎日新聞
- ⑦ 東京理科大&防衛省



卒業生からのメッセージ



大学1年生（2019年卒業）
栗栖 樹乃
法政大学 人間環境学部
御所ヶ丘中学校 出身

も成長出来たと感じています。また、忙しい生活中で、時間を上手く使うことも自然と身につけることが出来たと思います。

水海道一高は、定期戦や歩く会など、一年を通して行事がたくさんあります。定期戦では3年生の時、開会式の選手宣誓を経験しました。こうした行事は高校生活をより華やかにしてくれました。受験生のときは辛いことばかりでしたが、先生方が親身になって勉強の手助けをしてくださったので、乗り越えられたと感じています。

勉強も部活動も行事も、すべてにおいて密度の濃い時間を過ごせるのが水海道一高です。みなさんもぜひ、可能性を存分に広げていける水海道一高で充実した高校生活を過ごしてください。



大学1年生（2019年卒業）
川上 将太
筑波大学 情報学群
戸頭中学校 出身

前生徒会副会長の川上です。中学生の皆さんに向け、いくつかお話しします。まず、高校の思い出についてです。僕は生徒会と弓道部に入り、とても楽しく充実した出会いや生活を経験しました。さまざまな行事を通して楽しい高校生活を過ごしました。次に、進路についてです。大学進学を考えている人が大半だと思うので個人的に一言「1年生から定期テストだけは頑張れ。」これまで、推薦でも受験でも絶対に有利になります。他の時は、趣味でも部活動でも思いっきり楽しんでください。最後に、高校生活は過ごし方次第でとても楽しいものになります。その上で大事なのが「自分の意思」と「行動力」と「友人」だと思います。僕は、生徒会や部活動に入つていい先輩や後輩、そして友人に出会えました。本当にやってよかったと思います。何かを強制するつもりはありません。しかし、誘われたことや、やってみたいと思ったことに積極的に挑戦していくけば、新しい人や自分に出会う良い機会になるはずです。高校生活をいかに楽しめるかが青春のカギだと思います。ではでは、Good Luck!



大学3年生（2017年卒業）
菊池 和澄
早稲田大学 文化構想学部
取手第一中学校 出身

いま、私は大学で映画やドラマ濶けの日々を送っています。授業ではプロの映画監督や役者の方々の貴重な話を聴いたり、サークルでは部員たちと試行錯誤しながら映画を作りたいする毎日です。興味あることをとことん深められる場所、それが大学です。どんな大学生活を送ることになるか、全ては自分次第。そういった今の大学生活を送っているのも、海一で過ごした3年間のおかげだと思います。もともと興味のあった映画・ドラマを大学で勉強するために、高校生活の大半を勉強に捧げました。もちろん修学旅行や文化祭の時は勉強のことは忘れてその時を楽しんでいましたが、高校で過ごした思い出の半分は受験勉強といっても過言ではありません。先生方から多くのサポートを頂ながら、自分自身と向き合い、友人たちと励ましあって受験を乗り越えた思い出は今でも心に強く残っています。あくまで高校は将来への通過点に過ぎないかもしれません。でも、あなたがこれから高校で過ごす時間は間違いなくかけがえのない思い出になります。あなたの高校生活が素敵なものになるよう祈っています。



社会人（2013年卒業）
秋田 英樹
常総市商工観光課 勤務
鬼怒中学校 出身

生活がそう感じさせてくれました。水海道一高は地元の方々との親交が強く、常に温かい目で見守っていただくことができます。私が常総市の職員を志したのは、そんな地域の方々に恩返しがしたいと感じたからです。今でも覚えているのは、私が高校1年生で野球部に所属していた時におきた「東日本大震災」です。震災の影響で練習ができないとき、地域の方々がいつも励ましの言葉をかけてくれました。自分たちがつらい思いをしているにも関わらず、明るく接してくれる方に対し、何かになりたいと感じるようになりました。

そして今、私は常総市役所の職員として働いています。市役所では地域振興や観光PRに関する仕事を行っています。最近では、水海道一高の生徒さんを含めた、常総市内の高校生たちと一緒に蓄音祭（らいじょうさい）というイベントを運営しました。タイトルからステージ企画まで、全て高校生たちが発案したものです。企画が成功し、高校生たちが嬉しそうな笑顔を見せてくれた時、この仕事に就いて良かったと、心から感じました。どの高校を選び、どんな道に進むかを決めるのは自分ですが、もし迷っていることがあれば、一度水海道一高を訪れてみてください。素敵な先生方や先輩方、地域の方々が力になってくれます。ぜひ高校生活を楽しんでください。



大学1年生（2019年卒業）
滝本 康生
茨城大学 教育学部
坂東南中学校 出身

水海道一高での3年間はとても充実した学校生活だったと思います。僕は陸上部に所属していたのですが、部活を通して同じ学校はもちろん、他校の人達とも仲良くなることができ、厳しい練習をともに乗り越えることで心身ともに成長できたと思っています。また、学校行事も多く、文化祭や歩く会などで友達との絆を深めることができ、とても思い出に残っています。

設備としても冷暖房完備だったり、授業に集中することが出来るように設計された教室だったりとても充実しています。勉強をする場所としては最適なので、長期休みなどに学校にいて勉強するのがオススメです！

高校に入ってすぐはまだ知らないことも多く、不安になることがあると思いますがそんな時は是非、先輩たちに聞いてみてください。きっと優しく対応してくれるはずです。水海道一高は文武両道という言葉がピッタリ当てはまる学校です。皆さんも水海道一高で充実した生活を送ってみてください。後悔はないはずです！



大学1年生（2019年卒業）
吉田 亜希
東京理科大学 理学部
水海道西中学校 出身

水海道一高では勉強はもちろん、学校行事や部活動、友人との交流においてとても充実した3年間を過ごすことができました。

私は吹奏楽部に所属していました。吹奏楽部は例年3年生の6月ごろに引退となります。私は高校最後のコンクールがある8月まで部活動を続けていました。受験勉強と部活動の両立は大変なこともありますが、放課後や授業の空き時間などを使って先生方に質問をしたりアドバイスをいただきたりと、時間が無い中でも効率良く勉強することができます。また先生方には、成績が伸び悩んでいる時など精神面において支えていただきました。このように少ない時間でもしっかりと準備を整えて受験に臨めたのは先生方のサポートのおかげだと感じています。さらに水海道一高には定期戦、亀陵祭、歩く会などの高校生活には欠かせない楽しい思い出を作る行事が沢山あります。特に歩く会は、友人と一緒にゴールにたどり着いた時の達成感がとてもいい思い出になりました。ぜひ皆さんも水海道一高で充実した3年間を過ごしてください。



大学4年生（2016年卒業）
長谷川 将史
東北大学 工学部
水海道西中学校 出身

私は高校時代、弓道部に所属していました。高校生活で、勉強と部活動の両立をしたいと考えていた私は、授業に集中し、授業中や終了後に先生方に質問することで、日々のなかで理解を進められるよう努力しました。先生方も熱心に対応してください、より勉強に励むことが出来ました。部活動にも、集中することができ、弓道部での活動の毎日は楽しく、とても充実した高校生活を送ることが出来ました。高校時代、将来どういう職業につきたいかやどうなりたいかは具体的に決まっていませんでした。化学に少しだけ興味があり、大学進学において、化学系への進学を決めました。大学生活は、とても自由度が高く、自分の興味のある授業を選択したり、語学留学をしたり、様々な体験や人の関わりを得ることができます。大学での生活や授業、様々な体験を経て、自分がどうなりたいかをより具体的にすることが出来、今では微粒子についての研究を行っています。これから高校生になるみなさんには、今の段階で将来どうなりたいかを具体的に考えることに実感は沸かないと思いますが、少しでも興味のあるものを見つけることでより楽しく充実した日々にして頂きたいです。



社会人（2003年卒業）
神田 成美
坂東市民音楽ホール 勤務
岩井中学校 出身

海一と言えば、演劇部で過ごした濃密な日々を思い出します。部長を務めた年に関東大会出場を果たし、引退、完全燃焼したはずが、大学生・社会人になっても舞台から離れられず・・・ついに仕事を辞め、劇団文学座に入座、演出家を目指しました。プロの世界は厳しいながらも圧巻でした。芝居を観て、寝る暇を惜しんで勉強したものです。けれど、次第に違和感を覚えます。研ぎ澄まされた芸術作品より、みんなが楽しんで作る舞台に携わりたいと。やはり原点は海一演劇部なのです。

その後、運よく坂東市役所に採用され、現在は市民ホールで舞台技術職をしています。ここでは利用者の誰もが特別な一日を過ごします。海一吹奏楽部も演奏会を開催するほか、ピアノやダンスの発表会、合唱コンクールなども催されます。みんなが心待ちにしていたイベントで、一人一人が輝けるようサポートする仕事は、非常にやりがいがあります。私は学生の頃、舞台と仕事が結びつかずに遠回りました。好きなことに素直になって、もっと早く将来を思い描けていたら良かったなと思います。みなさんも、海一での3年間を有意義に使って、将来の仕事について積極的に考えてみてくださいね。